

天

天

100mm

100mm

97mm (内側に折り込む面)

武蔵野市議会議員 自民党

やまざき

山崎 たかし



地域の絆で
子どもの笑顔
あふれる武蔵野

武蔵野市住民の暮らしを守る会通信vol.12

小美濃市政がスタートして3年目を迎えました。本年4月には大規模な人事異動が行われ、伊藤副市長の退任に伴い、新たに一ノ関副市長が就任されるなど、市政運営において大きな節目となりました。また、私たち市議会議員の任期も残すところ1年となりました。この間、一般質問をはじめ、市民の皆様の声を市政に届けるため様々な活動に

取り組んでまいりました。一方で、まだ道半ばの課題や、実現に向けて取り組みを続けている政策もあります。残された任期の1年を大切に、市民の皆様の暮らしに寄り添いながら、より良い武蔵野市の実現に向けて全力で活動してまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般
質問

通学路の安全対策強化を！

第一回定例会の一般質問において、子どもの通学路における交通安全対策について取り上げました。市内で通学時間帯にバリケードを設置している小学校は7校にとどまり、地域ボランティアやPTAなどの地域が担っている実態も明らかになりました。しかし、共働き世帯の増加などが進み中、朝の見守り活動に参加したくても時間的に難しい家庭が増えており、活動できる人への負担集中や、地域・学校ごとの安全対策の格差が課題となっています。私は、バリケードや車両進入抑制設備など、物理的デバイスの活用が効果的であることを説明し、市が有償によるバリケード設置を担う仕組みができないか質問しました。市からは「現場の声を聞きながら検討する」との答弁がありましたが、まだ十分とは言えません。子どもの安全が家庭環境や地域力によって左右されるべきではなく、安全確保は行政が主体的に取り組むべき重要な責務です。今後も、持続可能で公平な通学路安全対策の実現に向け、取り組んでまいります。



一般
質問

期日前投票の利便性向上 三鷹駅に移動投票所導入を提案

第一回定例会の一般質問において、投票環境の改善と投票率向上について質問を行いました。特に、近年増加している期日前投票の利便性向上について取り上げ、三鷹駅周辺への期日前投票所設置の可能性を質問しました。市からは、これまで検討はしてきたものの、適切な施設の不足や、投票管理者・立会人などスタッフ確保の課題、待機スペース不足などから実現には至っていないとの説明がありました。私は他自治体で導入されている「移動投票所」の活用し、三鷹駅周辺に投票車両を配置することを提案しました。仕事帰りに三鷹駅周辺で期日前投票できることは、利便性向上により投票機会を高めるのではないかと訴えました。市側からは、まず既存23投票所の確保を優先する考えが示された一方で、移動投票所については「他自治体の事例を研究し、将来的な活用も検討したい」との答弁がありました。誰もが投票しやすい環境を整えることは、民主主義の基盤です。今後も、多くの市民の皆様が参加しやすい選挙制度の実現に向け取り組んでまいります。

地

地

A

B

C